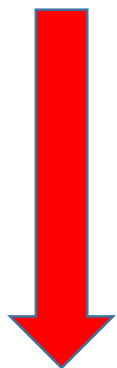


先日は、「北の丸公園」を舞台に、自然とのふれあいからの“探究”を楽しんだ5歳児そら組ですが、園内でも探究の種と、それを見つける子どもたちの目^めにより、たくさんの探究活動が生まれています。そんな探究エピソードの一端をお伝えします。

このサナギ、何のサナギかな？…

10月中旬に園庭で見つけてそら組で飼育していた幼虫が、徒歩遠足翌日、登園したらサナギになっていました。



よく見ると、サナギのお腹のような部分は、金ピカに光っていました！



サナギのてっぺんには、もじゃもじゃの黒いものがついていました。

発見した子どもたちが、「なんのサナギか知りたい。」「どうやって調べる？」という話になると、一人の子が「虫博士の石井先生にお手紙で聞いたらいいんじゃない？」と発案。ちょうど、前日に北の丸公園で石井先生と一緒に自然と触れ合うことを楽しみ、たくさんの知識を得たこともきっかけになったようです。

ただ石井先生に聞くだけでなく、自分たちでも調べて、「これかも知れない」と考えてからお手紙を書くことになりました。



えほんの部屋で見つけた図鑑を何冊も持って、実物と真剣に見比べていると、関心をもった友達も来て、「探究」の輪がたちまち広がります。



石井先生にお手紙を書こう！

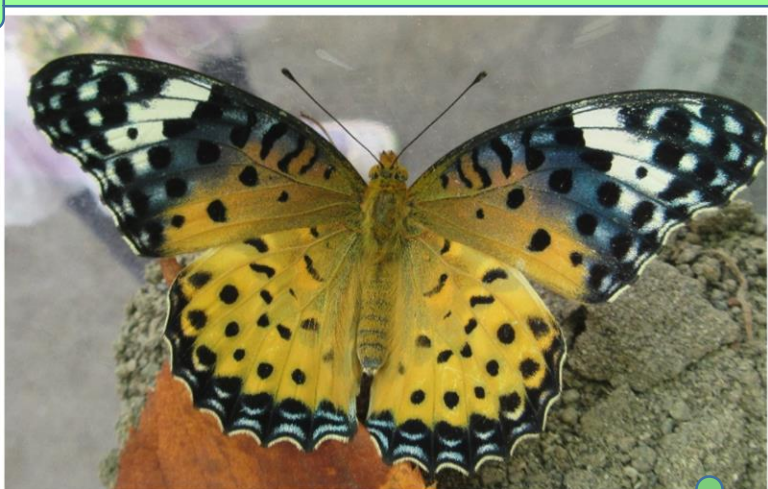


お手紙を書いて

→ 重さを量って切手を貼って

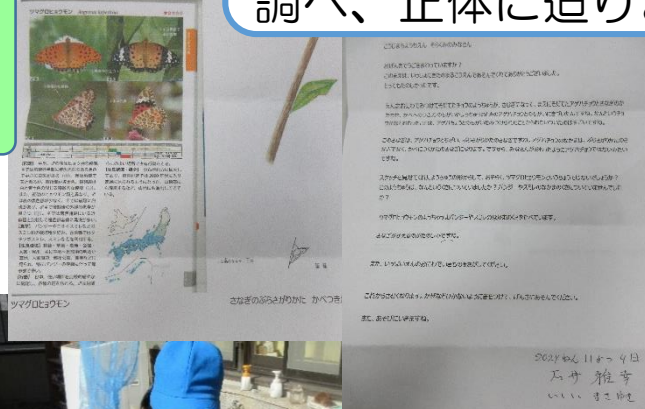
→ ポストに投函！

すると、サナギが羽化しました！



開いた時と閉じたときで、模様が違うことに気付きました。蝶の模様を手掛かりに図鑑で調べ、正体に迫ります。

そして、石井先生からお返事が届きました。

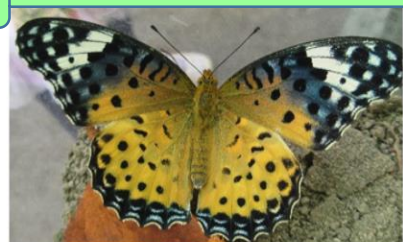


石井先生からの特徴や解説付きのお手紙と、実物をとった写真、図鑑を照らし合わせて、ついに正体が判明しました！

わくわくしながら、子どもたちがお手紙をハサミで開封✂



正体が判明！



謎の幼虫→金ピカがあるサナギ→そしてこのチョウの正体は**ツマグロヒョウモン**でした。

この出来事を、探究した子どもたちが「サークルタイム」で学級のみんなに伝えると…
「何で、閉じたときと模様が違うのかな」
「オスとメスは幼虫の時も見た目が違うのかな」
「何でサナギに金ピカがあるのかな」などの考えや疑問がたくさんあがり、さらに探究の輪が広がりました。まだまだ、探究は続いています。